

善行雑学大学 ご案内

「設立の背景」

世の中の変化に伴い、かつての経済優先の考え方から心の豊かさを求めるようになり、多くの人々の間で生涯学習熱が高まっています。藤沢市でも行政の住民サービスとして、生涯学習大学を始め各公民館や老人福祉センターで様々な生涯学習講座が開かれています。行政の企画には必ずから限度があるため、多様なニーズに応えるには難しいのが現状と云えます。

多くの人々は幅広いテーマについて講師を囲んで勉強をしたいと思う一方、これまでの仕事や趣味で得た知識や技術を何らかの形で地域の人々に伝え、還元したいと思っているのではないのでしょうか。また、職域による交友関係だけでなく、地域での交友関係を作り、地域社会との共生を図って行きたいと考える人も多いと思われます。

「発足と活動の目的」

善行雑学大学は、不特定多数の市民に対して生涯学習機会を提供するために自主的に取り組んでいる任意団体で、1999年3月に発足し同年6月に開講しました。

基本的には会員が自らテーマを考え、講師を務めたり、見つけたりする手作りの大学です。「地域に根付いた住民による、住民のための、住民の大学を目指し、①気軽に参加できる生涯学習機会の提供、②地域住民のふれあいの場づくり、③学習内容を地域社会へ還元できる実践活動への結びつけを目指しています。

「活動内容」

1. 講座開催日 原則として毎月第3日曜日(会場の都合による変更あり)
2. 時 間 午後2時～4時(2時間) 講義、質疑応答を含む
3. 会 場 善行公民館(小田急線善行駅西口から徒歩3分)
4. テーマ 政治、地方自治、経済、自然科学、産業、環境、健康・医療、教育、宗教、文学、芸術、歴史、生活文化、湘南地域学、生きがい等
5. 講 師 会員の人脈、会員および一般からの公募
6. 受講資格 年齢、性別、学歴、住居地不問
7. 学生会員 年会費:3,600円(2014年4月改訂)
特典 講座資料の無料配布、翌月の講座案内、前月の講座アンケート結果を送付。
課外授業(見学会や史跡探訪)および特定テーマのセミナーやミニ講座、会員の懇親会や懇親旅行会に参加できます。また、各講座を収録したDVDライブラリーや講師の著書等を集めた善行雑学大学文庫を利用することができます。
8. 当日会員 会費:500円(講座資料代他)(2014年6月改訂)
9. 事務局 〒251-0875 藤沢市本藤沢3-14-2 宮田英夫(代表理事)
TEL/FAX: 0466-82-0517

「活動の特色」

- ① **三タダ主義（講師謝礼、会場費、受講料がタダ）**による運営。但し資料その他の印刷物の経費や運営に関わる諸経費は頂戴しています。
- ② 開講以来、毎月の講座の度に受講者にアンケートの提出を求め、これを整理、取り纏めて講座後に講師と学生会員に送付し講座結果のフィードバックを行っています。
- ③ 第3回以降の講座をビデオ撮影し、「善行雑学大学ビデオ・ライブラリー」としてDVDに記録を保存。また、これを学生会員宛てに貸し出しを実施。
- ④ 講師から寄贈された著書を「善行雑学大学文庫」として学生会員宛て貸し出しを計画。

「これまでの活動実績について」

- ① 1999年6月の開講以来、これまでの**238回に亘る講座参加者の累計は26,515名**に上り、県内唯一といえる市民による常設の生涯学習講座として、地域社会に対する貢献は極めて大きいと自負しています。
- ② **講師はボランティア**で、講演謝礼はゼロにも拘わらず多彩で経歴豊かな人材を揃え、善行雑学大学の名に恥じない質の高い講義を維持しています。（講師に交通費はお支払しています）
- ③ 受講生は、地元のみならず、藤沢市全域、更には横浜、鎌倉、逗子、茅ヶ崎、平塚、大磯、大和、川崎、東京など隣接の市や町に広がり、学生会員の**27%**はこれらの隣接市町居住者です。
- ④ **月例講座は会員外にも開放**し、毎回多くの一般市民が当日会員として参加しています。
- ⑤ **課外授業**（見学会および史跡を訪ね歩く会）は、これまでに**105回**実施し毎回多くの学生会員が参加し、今後も年間最低4～5回は実施の予定です。
- ⑥ **ミニ講座**：開催は不定期ですが、30～40名の少人数を対象とした特定テーマについての講義を行っています。2010年度からは善行公民館の市民企画公開ミニ講座として8回、2011、2012年度は年間各6回開催しました。2013年度からは公民館との共催公開講座として年間3回～4回開催し、2019年度も3回開催します。
- ⑦ 2005年10月からは善行の県立体育センター敷地内に在る通称「**グリーンハウス**」（旧藤澤カントリー倶楽部のクラブハウスとして日本の建築史上高名なアントニン・レーモンド氏の設計により1932年に建築された貴重な歴史的建造物）の保存・再生プランに地元団体として関わり、その存在を広くPRするために2006年春に、この建物で写真会とコンサートを開催しました。2006年秋からは「**湘南邸園文化祭**」参加行事として毎年講演会・シンポジウムやコンサートを開催し、2008年秋からは、これらに加えゴルフ場跡を巡る歴史散歩ツアーを開催しています。
この活動に専門的に関わる部会として「**グリーンハウス保存・再生推進部会**」が組織され、これまで断片的な記録のみであった藤澤カントリー倶楽部とグリーンハウスの歴史を総括的に網羅する資料を編纂。2011年2月に創建時のクラブハウスとかつてのゴルフ場の写真入り**A4版120頁**の『**グリーンハウス物語**』～戦禍に消えた名門ゴルフ場「藤澤カントリー倶楽部」と面影を残すクラブハウス を刊行し大変好評を得て初版、再版を完売、現在第3版を発売しています。
部会は、旧ラウンジの**タイル床**が長年の汚れで真っ黒であったため費用を負担し専門業者による**研磨・清掃**を実施し嘗ての面影（デザイン）を取り戻し、更に建物入口が面している道路際にグリーンハウスの由緒を記した**説明板**を制作し県に寄贈しました。また、毎月2階のバルコニーを清掃すると共に年間を通してグリーンハウスを彩る**花の植栽**を行ってきました。

「表彰」

1. 2014年11月29日に神奈川新聞社から「**第27回神奈川地域社会事業賞**」を受賞。
2. 2017年3月22日に神奈川県から「**平成28年度ボランティア活動奨励賞**」を受賞。

「グリーンハウス」 追補事項

神奈川県は東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプにも対応できるように施設・設備の老朽化が著しい体育センターの再整備を平成 29 年(2017 年)7 月～平成 32 年(2020 年)1 月末までの間に行い、平成 32 年(2020 年)4 月 1 日より供用開始を予定しています。

上記に伴い、県立体育センター内にある「グリーンハウス」についても**歴史的建造物の保全を目的とした改修**の実施が決定され長年の懸案であった全面的修理が行われることになりました。

★この改修により 3 階部分は大空間化し①体育関係資料、②グリーンハウスの歴史・建築的価値等についての展示スペースとすることが予定され、②部分については善行雑学大学がその設営・運営を担うことが予定されています。